

健康・福祉部会

地域ケア推進会議からの提言、見守り座談会、生活支援体制整備事業などについて議論。



第2回

1 地域ケア推進会議

地域ケア推進会議から、平成 29・30 年度の地域ケア会議から見てきた地域課題について提言を受けた。

主なご意見

○つどいの場の体制整備について

- ・高齢者からつどいの場に行きたいとの声を聞かすが、キャパシティの問題などからすべての方を受け入れできていない現状がある。

2 見守り座談会

都島区社会福祉協議会 見守り相談室から中野地域で実施した見守り座談会「孤立死をなくそう」について報告を受けた。

主なご意見

○孤立死について

- ・高齢者だけでなく若年者の孤立死も増えてきていると思う。
- ・孤立死をとらえて、地域と民生委員、区役所、社協、包括、消防、警察などが集まって話し合いの機会をもつことは良いこと。

○地域の担い手について

- ・地域で活動している方は様々な活動をされている。区役所や警察などからそれぞれお願いごとをされるが、地域の受け皿はひとつしかない。担い手不足の問題もあり、地域でどこまでできるかには課題がある。

3 生活支援体制整備事業

都島区社会福祉協議会 生活支援コーディネーターから都島区での生活支援体制整備事業について説明を受けた。

主なご意見

○移動スーパー（とくし丸）について

- ・品数は少なくとも、家の近くまで移動スーパーが来てくれて買い物できるシステムは良い。

[社会福祉協議会]

- ・若い方であれば 500m先のスーパーにも買い物に行けるが、高齢になると 500m、300mが行けなくなり、どうにか玄関先までなら出られるという方が増えている。

- ・とくし丸の販売パートナーは、区内でケアマネジャーをされていた方とのこと。高齢者のことをよく知る方がされていることがすごく大きなポイント。

[社会福祉協議会]

- ・ヘルパーなどの福祉サービスを全て拒否し、地域とのつながりが一切ない、ひとり暮らしの男性が「とくし丸」だけは週 2 回必ず利用されているというケースもある。